

## カドミウムの検討にかかるこれまでの経緯

平成 15 年 7 月 1 日

厚生労働省より「食品からのカドミウム摂取の現状に係る安全性確保について」の諮問

平成 15 年 10 月 10 日 第 1 回汚染物質専門調査会

諮問内容を確認 1. カドミウムの耐容摂取量

2. 現状摂取されているカドミウムの国内における健康影響の有無

平成 15 年 12 月 10 日 第 2 回汚染物質専門調査会

論点を整理（「カドミウムに係る食品健康影響評価の論点と今後の進め方」参照）

1. カドミウムの耐容摂取量

(1) JECFA の PTWI の根拠を共通認識とする必要性

根拠とされた尿中カドミウム  $2.5 \mu\text{g/g cr}$  は妥当か

第 16、55 回 JECFA の PTWI で用いられた吸収率等は妥当か

(2) カドミウム曝露によるエンドポイントの特定、重篤度基準の策定

腎機能への影響について

カルシウム代謝及び骨への影響について

生命予後への影響、神経発達及び神経行動への影響

(3) カドミウム代謝について、カドミウム摂取量と腎における蓄積量を評価

(4) 疫学的視点から耐容摂取量を設定

2. 現状摂取されているカドミウムの国内における健康影響の有無

(1) エンドポイントの検討

(2) 現状のカドミウム摂取にかかる国内データ

上記論点に基づき、有害性検討（遠山）、代謝・モデル検討（大前）、疫学・総合リスク評価（香山）の 3 つの小グループに分かれて検討を進めることとされた。

平成 16 年 3 月 31 日 第 3 回汚染物質専門調査会

事務局が小グループの作業進捗状況を簡単に報告

作業の方針、内容を調整中

検討協力者の人選、文献収集を開始